

特集

大山町議会も 10歳になりました

これからも皆さんとともに歩んでいきます



新大山町議会は、平成17年4月24日執行の一般選挙で議員が決まり、議会活動が始まりました。過ぎた10年を振り返り、これからの議会はどう

あるべきなのか皆さんに考えていただきたいと思っています。議会基本条例の住民説明会に来られた人に、議会への思いを寄稿していただきました。

老いの つぶやき

椎木 喜久男
(種原)



このたびは、町村議会広報全国コンクール受賞、誠にありがとうございます。

この頃、物事の変化についていけない自分を感じますが、最近の思いの一部をお聞きいただけたら幸いに存じます。

地方行政などは行財政改革が叫ばれ、さまざまな取り組みもされています。その基本的な考え方は町民目線の行政サービスと財政健全化とのバランスを考え合わせることでと思います。

世の中に情報はあふれ、無関心層の人が多くおられるようです。町も議会も施策を変更する場合は、事前の対話や説明をして、意見

の集約をはかり、後に不平・不満の聲が上がらないように説明責任を果たしていただきたいものです。人は時としてわがままや自己主張するものです。これを説得する能力を養い、即応性をつけることも重要なことです。

行政は、えてして財政的困窮を理由に積極的な取り組みをしないこともあります。そこで、個々の能力と知識の結集をはかり、先見性を発揮して審議を重ね、「進むも勇気、引くも勇気」の英断をしていただき、よりよい大山町発展にご尽力をたまわりますようお願い申し上げます。